

Lonza、Xcite® AAV 安定生産細胞株プラットフォームを公表 — AAV（アデノ随伴ウイルス）製造能力の拡張とウイルスベクター製造の産業化を加速

- 新技術は、臨床的に意義のある顧客の目的遺伝子および改変カプシドにおいて、一過性トランスフェクションと比較して優れた性能を示し、スケラブルで費用対効果の高い AAV（アデノ随伴ウイルス）製造を可能にします
 - 今回の発表は、複雑なバイオ医薬品を長年支援してきた中で培われた、Lonza の細胞株開発、ウイルスベクター製造、プラットフォーム産業化における深い専門性を反映しています
-

2026年5月12日、スイス・バーゼル – Lonza は本日、遺伝子治療の開発企業がプログラムの商業化に向けて進む中で直面する、スケラビリティ、製造原価、プロセス堅牢性の課題への対応を支援するために設計された、新しい Xcite® AAV 安定生産細胞株（PCL）技術の提供開始を発表しました。Xcite® AAV PCL プラットフォームは、従来の一過性トランスフェクションベースの AAV 製造で生じがちな変動性、運用の複雑さ、スケールアップ時のリスクを低減します。これらの課題は、対象患者数の拡大やより高用量の投与要件に向けてプログラムが進展するにつれて、より顕著になる傾向があります。

新しい Xcite® AAV PCL プラットフォームは、AAV 産生に必要なすべての要素を細胞株に安定的に組み込む Lonza 独自の製造アプローチに基づいています。臨床的に意義のある目的遺伝子および改変カプシドを用いたベータ評価において、本技術は一過性トランスフェクション法と比較して力価が 10~15 倍向上することを示しました。性能向上に加え、製品特性の一貫性とプロセス堅牢性の向上により、より大きな患者集団を対象とする適応症や、腫瘍領域および神経変性疾患を含む大幅に高い投与量を必要とする適応症向け治療の開発を支援します。

自社の治療法の製造適性評価に関心のある顧客は、Lonza のプロセス開発ラボを通じて Xcite® AAV PCL プラットフォームを利用でき初期段階で Go / No-Go 判断を行うことが可能です。複数プラスミ

ドによる一過性トランスフェクションに代わる、より予測可能でスケーラブルな選択肢を提供することで、本プラットフォームはプロセス変動の低減、より円滑な技術移管の実現、そして売上原価（COGS）の大幅な削減を目指して設計されています。さらに、新しい Xcite® AAV PCL プラットフォームは、自社ラボで製品開発にスケーラブルかつ堅牢な技術を活用したい遺伝子治療開発企業に対して、技術ライセンス供与の形で提供可能です。

Lonza の Vice President, Research & Development, Specialized Modalities である Senthil Ramaswamy は次のように述べています。「Xcite® AAV PCL プラットフォームは、AAV 製造における Lonza の長年にわたるイノベーションと実践的な経験の集大成です。将来の商業需要を見据えて計画を進める遺伝子治療開発企業が製造上のボトルネックを克服できるよう、この知見を堅牢なプラットフォームに組み込みました。この技術は、原材料効率、スケーラブルな製造、生産性向上を通じて、COGS を 80%以上削減しながらプロセスを容易にスケールアップできる可能性を備えています。」

補足情報

Xcite® AAV PCL 技術は、Lonza のグローバルな開発・製造能力によって支えられており、遺伝子治療ライフサイクルの各段階にある開発企業向けに、柔軟な契約モデルで提供されています。顧客は、初期の実現可能性評価から商業生産に至るまで、自社ラボ向けに本技術のライセンス供与を受けることもできます。

Lonza の Xcite® AAV PCL 技術の詳細については、[Take Your AAV Manufacturing into the Future | Lonza](#) をご覧ください。

Lonza お問い合わせ先

media@lonza.com

免責事項

本メディア・アドバイザリーの記載事項は、将来の予測に関する記述を含む場合があります。これらの記述は、Lonza グループの現在の予測と推定に基づいており、これらの予測と推定の達成を Lonza グループが保証するものではありません。投資家の皆さまは、すべての将来の予測に関する記述がリスクと不確かさを含んでおり、全体として制限されていることにご注意ください。本メディア・アドバイザリーに含まれる将来の予測に関する記述は、さまざまな要因により、実際の結果と大きく異なる場合があります。また、Lonza グループは、法律により要求される場合を除き、本メディア・アドバイザリーに含まれる記述を更新する意図を有するものではなく、また、義務を負うものではありません。

プライバシーポリシーは[こちら](#)から。

本メディア・アドバイザリーは、Lonza Group Ltd が、2026年4月12日（スイス現地時間）に発表したメディア・アドバイザリーを日本語に翻訳再編集したものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

英文メディア・アドバイザリー

Lonza Expands AAV Offering with Xcite® AAV Stable Producer Cell Line Platform to Industrialize Viral Vector Manufacturing